

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
関西医療学園専門学校	昭和32年5月13日	武田 秀孝	〒558-0011 大阪府大阪市住吉区苅田6-18-13 (電話) 06-6699-2222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 関西医療学園	昭和55年5月8日	武田 大輔	〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1 (電話) 072-453-8251			
目 的	学校教育法及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づき、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に必要な専門的知識及び技術を教授し、資格の取得のみならず心豊かな人間性と確かな実践力を身につけた医療人を育成並びに社会に貢献できる人材を輩出することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	東洋医療学科	3年(昼)	93単位2435時間 (又は単位)	平成7年文部科学省告示第7号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		69単位1585時間 (又は単位)	3単位75時間 (又は単位)	0単位0時間 (又は単位)	4単位180時間 (又は単位)	17単位595時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人		99人		11人	24人	35人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験を主とし総合的に評価し、100点満点中60点以上を合格とする。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月27日～1月6日 ■春 季：3月25日～3月31日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	卒業条件は、出席を満たすと同時に、定期試験・卒業試験等すべての科目の試験の合格を条件とする。進級条件は、出席を満たすと同時に、進級試験を合格し、未修得単位が4単位以下を条件とする。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任・副担任との個別面談を行い、未改善の学生は保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 鍼灸院・治療院・病院・診療所</p> <p>■就職率<sup>※1</sup>100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup> 92.6%</p> <p>■その他（任意）</p> <p>（平成25年度卒業者に関する平成26年5月時点の情報）</p>	主な資格・検定	<p>あん摩マッサージ指圧師国家試験受験資格</p> <p>はり師国家試験受験資格</p> <p>きゅう師国家試験受験資格</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 1.0%</p> <p>平成25年 4月 1日在学者 99名（平成25年4月入学者を含む）</p> <p>平成26年 3月31日在学者 98名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由など</p> <p>■中退防止のための取組 担任・副担任による定期的な個別面談</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.kansai-iryo.ac.jp">http://www.kansai-iryo.ac.jp</a>		

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等の関係法令に基づき、教育内容や教員資格は厳格に定められている。

本校ではより専門的な知識と実践的な技術を教授できるように企業その他医療機関と連携し、教育課程を編成する上で意見を十分に活用し取り組むことを基本方針としている。これに伴い、定例で月1回、教員間で会議を開催し、授業内容や学生状況等について報告及び検討をしている。そこでは兼任教員からの意見を十分に取り入れ、カリキュラム編成、授業内容の改善及び学生指導等に活かしている。

特に教育課程の編成においては企業等と連携する教育課程編成委員会を設置し、教育内容の確認と効果を評価した上で、より実践的な教育課程の編成及び教育内容の充実を目的として、教育水準の維持向上を目指している。

本校の教育理念である「心豊かな人間性と確かな実践力を身につけた医療人を育成並びに社会に貢献できる人材を輩出すること」を達成するため、企業等と連携する教育課程編成委員会からの意見を十分に活用し改善に取り組むこととする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月4日現在

名前	所属
武田 秀 孝	関西医療学園専門学校
廣 岡 聡	関西医療学園専門学校
武田 貴 司	関西医療学園専門学校
森 岡 泰 之	関西医療学園専門学校
徳 田 明 也	関西医療学園専門学校
山 本 博 司	公益社団法人 全日本鍼灸学会
高 岸 美 和	一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会
辻 村 英一郎	辻村内科循環器科
川 崎 勝 巳	川崎針灸院
上 原 保 宣	上原整骨院
西 畑 靖	にしはた整骨院
織 田 明	株式会社 ワールド情報システム

### (開催日時)

第1回 平成26年10月4日 14:00~15:00

第2回 平成26年11月1日 14:00~

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

関係法令に定められた授業内容において、医学知識、治療技術及び臨床実習等の医療人として必要な素養を修得した上で、企業等と連携して卒業後に即戦力として臨床の現場で活躍できる臨床家としての医療人を育成することが基本方針である。これに基づき兼任教員(企業の連携)の授業では、現場での知識・技術の習得が実習・演習に活かされている。その結果、卒業後においても病院、クリニック、鍼灸院等多数の就職に結びついている。

科目名	科目概要	連携企業等
はりきゅう実技Ⅰ	1年次に実施する実技授業で、刺鍼の基礎を修得すること、安全に衛生的に刺鍼できることを目的とする。鍼灸用具の取扱いや刺鍼の方法、手指および施術部位の消毒法などを実技をとおして基礎から学び、安全性と衛生面に留意した刺鍼の方法を身に付ける。担当教員の指導のもと、学生相互に実技を実施する。	にしき鍼灸院

あん摩マッサージ 指圧 実技Ⅰ	マッサージ施術による療法を身に付け、実際の臨床に対応できる技術と技能を身に付けることを目的とする。マッサージの基本手技と人体各所へのその応用を実技を通して学習する。実技は指導教員の指導のもと学生相互に行う。	じゅんぺい鍼灸整骨院
はりきゅう実技Ⅲ	人体の各部にある経穴に対し安全かつ効果的に鍼施術が行えることを目的とする。鍼の刺入角度や深度、刺激量などについて学び、安全で効果的な施術を身に付ける。臨床現場で日々施術に携わっている鍼灸師の指導のもと学生相互に実技を行う。	左川鍼灸院
はりきゅう実技Ⅲ	2年次に実施する実技授業で、人体の各所の経穴に安全かつ効果的に灸施術が行えること、また、よくみられる疾患に対する治療が行えることを目的とする。艾炷の大きさやひねり具合、壮数などによって熱量の調節や刺激量の加減ができ、疾患に合わせた効果的な施術ができるよう、臨床現場で日々施術に携わっている鍼灸師の指導のもと、学生相互に実技を行う。	おきな針灸治療院
はりきゅう実技Ⅳ	3年次に実施する実技授業であるため、1・2年生で修得してきた基礎・応用に加え、病態に合わせた鍼灸施術が効果的に行える総合的な技術と技能を身に付けることを目的とする。授業内容は、実際の臨床現場でよくみられる病態に対する鍼灸治療を担当教員の指導のもと、学生相互に実技を実施する。	伴東洋治療院

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

教職員は更なるスキルアップを目指し、学科全体で職能団体が開催する研修会、勉強会等並びに学会に参加し専門的知識、技術の修得に努める。

毎年定期的に企業等の外部講師によるFD研修会を学内で開催し、学生に対するコーチング等について研修を行っている。また、各教員の役割(役職)に応じたFD(SD)研修会を開催し個々のスキルアップに活用している。

専任教員に対しては、企業等及び関連施設と連携して社会的現状を把握し、実習及び実技の更なる高度な専門的知識を習得するため、毎年度、計画を立て週1回の学外研修を実施している。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月4日現在

名 前	所 属
武 田 秀 孝	関西医療学園専門学校
廣 岡 聡	関西医療学園専門学校
武 田 貴 司	関西医療学園専門学校
森 岡 泰 之	関西医療学園専門学校
徳 田 明 也	関西医療学園専門学校
一 谷 勇 一 郎	イチロー整骨院
吉 備 登	卒業生
久 内 克 仁	株式会社 久内鍼灸整骨院
大 石 雄 一	公益社団法人 奈良県柔道整復師会
橋 本 等	卒業生
織 田 明	株式会社 ワールド情報システム

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.kansai-iryo.ac.jp>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.kansai-iryo.ac.jp>

授業科目等の概要

(医療専門課程 東洋医療学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			情報科学	コンピューターを使ったカルテ管理や患者に対する広報などが出来るよう、基本ソフトに習熟する。	1・後	30	2	○		
○			生物学	生命のしくみを学ぶことで、「生きている」ということを科学的な眼で捉え理解できることを目標とする。	1・前	30	2	○		
○			国語	円滑なコミュニケーションを行うための、読み・書き・話す力を養うことを目標とする。	2・前	30	2	○		
○			心理学	心の働きについて学ぶことにより、より広い視野から人を見られるようになることを目標とする。	2・後	30	2	○		
○			経営学	治療院の経営に必要な実務的知識を学ぶ。内容としては、簿記、確定申告、開業設備、資金繰り、利益計画等について講義する。	3・前	30	2	○		
○			保健体育論	ヨガについて学習する。身体と精神を本来の自然な状態に近づけることで人は喜びのうちに生活を送ることが出来ることを学ぶ。	1・前	30	2	○		
○			中国語	中国の文化を理解しながら中国語の基本文法や会話を学習する。鍼灸に関する専門用語の中国語での読み方も学ぶ。	1・後	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ	正常な人体の形態と構造を学ぶ。解剖学Ⅰでは主に骨格系、筋系について形態と構造を学習する。また解剖学の意義など解剖学基礎についても学習する。	1・通	75	3	○		
○			解剖学Ⅱ	正常な人体の形態と構造を学ぶ。解剖学Ⅱでは、内臓系、内分泌系、脈管系、神経系、感覚器系について学習する。	1・通	75	3	○		

(医療専門課程 東洋医療学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			解剖学Ⅲ	解剖学Ⅲでは体表解剖を学ぶ。部位別に骨・筋・軟部組織、関節および関節可動域について講義し、実際に視診、触診を行う。	1・後	25	1	○		
○			生理学Ⅰ	正常な人体の機能を学ぶ。生理学Ⅰでは、神経、内臓の自律神経性調節、筋、運動、感覚、生体の防御機構、ホメオスタシスと生体のリズムについて学習する。	1・通	50	2	○		
○			生理学Ⅱ	正常な人体の機能を学ぶ。生理学Ⅱでは、生理学の基礎、血液、循環、呼吸、消化と吸収、栄養と代謝、体温、排泄、内分泌、生殖・成長・老化について学習する。	1・通	75	3	○		
○			運動学	人間の身体運動の機構を科学的に分析し、骨・腱・筋肉・関節について、その構造と機能について学習する。	3・後	25	1	○		
○			病理学概論	病理学では、人体の正常な生理機能の知識を基礎として、異常な状態、疾病の成り立ちについて学ぶ。	2・通	75	3	○		
○			リハビリテーション概論	鍼灸師にとって必要なリハビリテーション医学を総論、各論に分けて講義する。	3・前	25	1	○		
○			衛生学・公衆衛生学	疾病の予防、健康の保持と推進など、肉体的、精神的に快適な生活を営めるような条件づくりを学ぶ。	2・前	50	2	○		
○			臨床医学総論	西洋医学における診察および検査についての知識を身に付け、臨床の場で役立てることを目標とする。	2・通	75	3	○		
○			臨床医学各論	各疾患について西洋医学的観点から、成因、症状、検査・診断、治療について学習する。	3・通	75	3	○		
○			関係法規	あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師が業務するうえで、理解しておかなければならない法令について学習する。	2・後	25	1	○		

(医療専門課程 東洋医療学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			医療概論	医学、医療、医療倫理、保険問題、医学史、介護問題についてなど、医療を志す者にとっては大切な内容を学ぶ。	1 ・ 後	25	1	○		
○			あん摩マッ サージ指圧 理論	あん摩マッサージ指圧の意義、沿革、基本手技の作用、治療効果、生体に及ぼす作用、古法按摩、物理療法などの専門的知識を学ぶ。	1 ・ 通	50	2	○		
○			はり・きゅう 理論	鍼灸についての基礎知識や臨床での応用について、また鍼灸治療の治効や関連する学説について学ぶ。	1 ・ 通	50	2	○		
○			東洋医学概 論	東洋医学の特色、基礎にある自然哲学、人体の生理観、病理、病因、診察、治療などについて概説する。	2 ・ 通	75	3	○		
○			経絡経穴学 Ⅰ	鍼灸の臨床において用いられる頻度の高い経穴の取穴を1年生で学ぶ。十二正経の五俞穴・五行穴の所属経・要穴名・取穴を学ぶ。	1 ・ 前	25	1	○		
○			経絡経穴学 Ⅱ	十二正経、督脈、任脈の流注および各経穴の取穴を学ぶ。また、各経脈にある要穴を学習する。奇穴についても取穴を学ぶ。	2 ・ 通	50	2	○		
○			経絡経穴学 Ⅲ	臨床によく用いられる経穴の治療効果や穴性について学ぶ。	2 ・ 通	25	1	○		
○			東洋療法各 論Ⅰ	内科系疾患に対する治療について、選穴や施術方法を学習する。	2 ・ 通	50	2	○		
○			東洋療法各 論Ⅱ	運動器系疾患に対する治療について、選穴や施術方法を学習する。クラスを2班に分け、半期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3 ・ 通	50	2	○		
○			東洋療法各 論Ⅲ	主に神経系・運動器系疾患に対するあん摩マッサージ指圧治療を学ぶ。クラスを2班に分け、前期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3 ・ 通	35	1			○



(医療専門課程 東洋医療学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			東洋医学臨床論	東洋医学における基礎的な診断学、病因病理学、弁証学を講義する。特に、临床上遭遇しやすい症候、疾病に対して東洋医学と現代医学とを総合した鍼灸治療の実際を学習する。	3・通	100	4	○		
○			社会あはき学Ⅰ	はり師、きゅう師、あん摩・マッサージ師がスポーツの世界でトレーナーとして働くときに必要な知識と技術を習得する。	2・前	25	1	○		
○			社会あはき学Ⅱ	救命救急を要する対象疾患の特徴（病態、診断、治療）を理解し、鍼灸師としての必要な処置について学習する。	3・後	25	1	○		
○			あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ	マッサージの基本手技と人体各所へのその応用を実技を通して学ぶ。また、各施術部位の解剖学的理解を実技をお通して深める。	1・通	70	2			○
○			あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ	指圧の理論を理解して基本手技を修得する。また、人体の各部位への施術法および疾患に対する治療法を学ぶ。	2・前	35	1			○
○			あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ	指圧の基本手技を臨床に応用できるように修得する。疾患に合わせた手技や施術部位の選択、押圧の強さや持続時間の選択などを行う力を養う。	2・後	35	1			○
○			あん摩マッサージ指圧実技Ⅳ	あん摩の基本手技の作用を理解して臨床に応用できるよう各手技を修得する。また、あん摩・マッサージ・指圧を疾患によって適切に用いることができる力を養う。	3・通	70	2			○
○			はり・きゅう実技Ⅰ	鍼灸の基礎技術を修得する。鍼灸用具を適切に使用できるように、鍼・灸を安全に衛生的に施術できるように、また、施術者として好ましい身だしなみや言葉遣い、態度を身に付ける。	1・通	175	5			○
○			はり・きゅう実技Ⅱ	1年次に学んだ基本的な鍼灸の手技に加え、応用的な手技を修得する。	2・前	35	1			○
○			はり・きゅう実技Ⅲ	身体各部位に安全で効果的な鍼灸施術ができるよう実技を通して学ぶ。また、よくみられる疾患に対する鍼灸施術を学ぶ。	2・後	70	2			○

(医療専門課程 東洋医療学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			はり・きゅう 実技Ⅳ	臨床の実際を意識し、病態に合わせた適切な鍼灸施術が行えるよう実技を通して学ぶ。	3 ・ 後	35	1			○
○			臨床基礎実 習	3年生での臨床実習に備え、2年次に付属鍼灸院での実習を行う。治療の流れや治療院での業務内容を理解する。また、医療面接について学ぶ。	2 ・ 後	35	1			○
○			臨床実習	付属鍼灸院で診察から治療までがどのような流れで行われるかを学ぶ。また受付業務やカルテ整理などについて実習する。	3 ・ 通	180	4			○
○			演習Ⅰ	現代の生活スタイルが健康におよぼす問題点と、健康を維持・増進していくための運動や食生活のあり方について学習する。	2 ・ 後	25	1		○	
○			演習Ⅱ	中医学における舌診や脈診を学習し、所見から病態把握（弁証）ができることを目標とする。	3 ・ 前	25	1		○	
○			演習Ⅲ	病態把握から治療方針を立て、選穴・処方を行えることを目標とする。	3 ・ 後	25	1		○	
○			東洋医学総 合講義	3年間で学習する東洋医学に関する知識を総合的にとらえて活用できる力を養い、臨床に対応できることを目標とする。	3 ・ 後	25	1	○		
○			特殊療法Ⅰ	古典に基づく治療法や伝統的な考えに基づく治療法を学習する。	2 ・ 後	25	1	○		
○			特殊療法Ⅱ	古典治療である経絡治療について六部定位脈診、腹診による証決定や難経に基づく選穴や治療法を学ぶ。	2 ・ 後	50	2	○		
○			特殊療法Ⅲ	鍼灸療法における様々な鍼法・灸法・治療法を紹介し、その知識・技術を習得する。クラスを2班に分け、前期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3 ・ 通	75	3	○		
合計					49科目	2435単位時間（93単位）				

